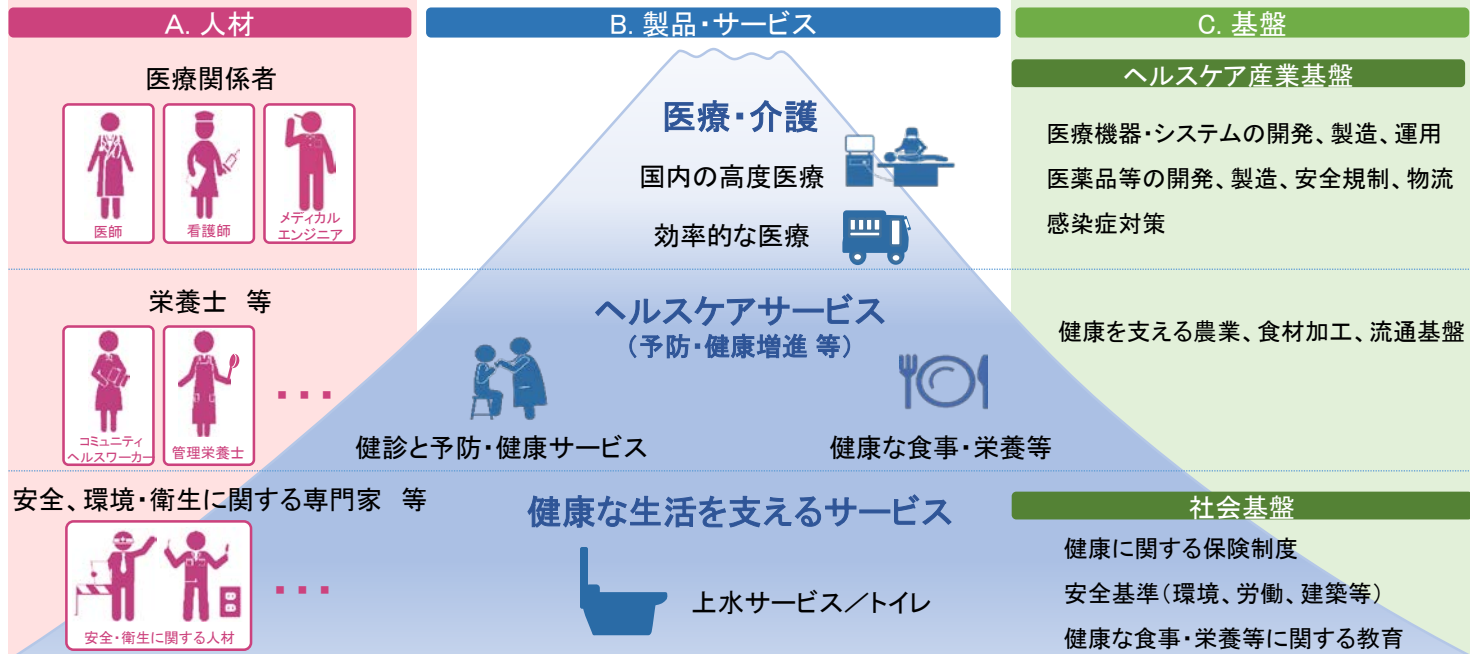


- アフリカは豊富な天然資源と急増する人口を背景に**高い経済成長を遂げ、潜在的市場として注目と期待を集めているが、下記の課題が存在。**
 - ヘルスケア分野における産業育成においても必要となる電力・水道・港湾・道路といった**基礎的なインフラが未整備。**
 - **公衆衛生・農業分野における基礎的な知識を向上させ、実践を担保し、更にはそれらを一体として進めることで社会環境の改善を図る必要。**
 - 未だ**感染症や栄養不良**といった早急に対応すべき課題も存在。
- 日本は、TICADプロセスを通じて、アフリカの開発課題に取り組んでおり、**TICADVIIにおいてもUHCの推進を含む保健の取組**を打ち出した。今般、人間の安全保障の理念に基づき、**アフリカにおけるUHCの推進をより一層積極的に図るとともに、上記の課題に対応したより具体的な貢献を行うべく、アフリカ健康構想に向けた基本方針**を定める。

- 「医療・介護」「ヘルスケアサービス」「健康な生活を支えるサービス」の各分野における**自律的な産業を振興し、すそ野の広い富士山型のヘルスケアの実現**を目指す。
- 上述のアフリカ特有の課題を踏まえ、例えば公的セクター等の取組により民間事業を創出・育成し、民間セクターの活性化が公的セクターを支えるという好循環の形成を目指し、**公的セクターによる支援と自律的な民間の産業活動を車の両輪として取り組むこと**で、当該国の**ヘルスケアを充実させるとともに、民間企業活動の活性化とも合わせて経済成長を実現。**
- 民間事業を成立させるため、**意欲あるNGOと連携して取り組むこと**も期待。

アフリカにおける富士山型のヘルスケアの全体像イメージ



アフリカ健康構想における初期の取組ポイント(①~④)イメージ(案)

- ① TICAD VIにおけるUHC重点国や、持続可能性の高い事業の推進が見込める国々と**政府間MOC**を作成する。
- ② 日本側の民間事業者、医療事業者等の**情報共有・連携の場**として、「アフリカビジネス協議会」の下に「**ヘルスケア・アフリカ健康構想WG(仮)**」を設置する。
- ③ 具体的な支援スキームとして、**ヘルスケア・アフリカ健康構想WGの活動支援・実証事業**の活用や、**ODA、政府系ファンド、経済産業省、厚生労働省、環境省等による個別スキーム**といった既存制度の活用、**JICA、JETRO、NEXI等による海外展開支援策の積極的な活用、拡充を検討する。**
- ④ こうした政府間MOC作成による環境整備及び支援スキームを通じ、地域におけるヘルスケアの実現に必要な産業の創出と、民間事業振興の契機となる**モデル事業の組成**を図る。

